

TBグループ 多言語セルフオーダーリングシステム
訪日観光客に対応 飲食店の課題解消

TBグループ（村田三郎社長）は10月下旬から、多言語セルフオーダーリングシステム

「Order Catch for 多言語」（仮称）を発売する。

同社のPOSシステム「TOUCH REGISTRATION 7000」とセイコーソリューションズの飲食店向けオーダーリングシステム「MONSTER」に対応する。

同システムは急増する訪日観光客に、多言語対応で飲食店での言葉の課題を解消する。テーブルに設置したタブレット端末の操作画面から多言語選択ボタンを押すだけで、中国語・英語・日本語に自動的に切り替わる。番号入力によるオーダー登録で簡単操作を実現した。

MONSTERと連携し、専用サーバーが不要。堅ろう性を兼ね備えたステーションやプリンタによる安定したシステム環境を構築できる。対応タブレットはブラウザソフトを搭載しているiOS搭載端末。

2015.9.11 電波新聞記事掲載

2015.9.24 フジサンケイビジネスアイ記事掲載

多言語対応の飲食店用オーダーシステム

中国語、英語など訪日観光客へのサービス向上

TBグループ

ホスレジシステム、屋外電子看板の大手メーカー、TBグループは、飲食店向けに、来店者がテーブルのタブレット端末から注文を入れるオーダーシステムに多言語対応の機種を揃え、10月下旬に発売する。

新機種は、タブレット端末で中国・英

語・日本語の中から言語を選び、メニューブックに記載してある商品番号を入力するだけで注文が完了する。訪日観光客とのコミュニケーションギャップを解消し、スムーズにオーダーが行える。

店舗スタッフを呼ぶのが恥ずかしい来店者もその必要がなくなり、手軽に注文

〈タブレット端末画面イメージ〉



番号入力



できるため、店側も客単価や売上げのアップにつながる。また、店舗スタッフは追加注文の対応に費やす時間を、他の接客、配膳、片付け、レジ業務などに集中

することができ、サービス品質の向上、人員配置の効率化を図れる。

問い合わせは、同社SA&NB本部 滝口 ☎03・5684・5311